
死後の世界

イノ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死後の世界

【Nコード】

N7763A

【作者名】

イノ

【あらすじ】

オレは人が死んだら天国か地獄に行くかと思ったけれど本当は別世界に行くことだった…

第1話『ショックな現実』

>?<『や、やめてくれー！！！！』

これがオレの人生最後の言葉…

…のはずだった。

>オレ<『あれ？ オレ生きてる…』

>オレ<『確かあの時…』

>オレ<（ハアハア…逃げなきゃ！！逃げなきゃ殺される！！）

>オレ<『そうだ！オレ逃げてたんだ…でも誰からだ？誰からオレは逃げてた？』

>?<『ねえねえ』

>オレ<『やべえ、思い出せねえ』

>?<『聞いている？』

>オレ<『チヨット待ってて』

>?<『そんなこと言われてもアタシこのあと予定あるし…』

>オレ<『ならさつさと……!!!!』

そのときオレはビックリのあまり口が開いたままだった

>?<『やっと理解した?』笑

>オレ<『ここオレの部屋じゃない!!』

>?<『気づくの遅っ!!てかアタシの姿見てビックリしないの?』

>オレ<『姿?……!!オレの胸なんで膨らんでんだ!?てか男の
アレが無い!!!』驚

>?<『だ・か・ら・アタシの……』

>オレ<『てかアンタ誰だよ!!』

>?<『ハア…やつと言ってくれたよ。そもそもキミがアタシの
……』

>オレ<『だから誰ですか?貴方』

>?<『…キミ専用の神だよ』笑

>オレ<『ハア?』

第1話『ショッケな現実』（後書き）

たぶん読んでいてイライラしたと思います。ゴメンナサイ
見切り発車したので矛盾有るかと思いますがこれからも頑張ってみ
ます。

第2話『ここはどこ？』

>オレ<『大丈夫？』

オレは捨てられた子犬を見る目で見た

>神<『大丈夫だよ。確かに変人に見られるかもしれないけどこの世界じゃキミだけにしか見られないから』

>オレ<『この世界？ここは天国か？もしかして地獄？』

>神<『どちらでもないよ』

>オレ<『なら夢？』

>神<『ここは現実の世界そしてキミが死んだ世界も現実』

>オレ<『あまり理解できないんですけど』

>神<『キミは人が死んだら天国か地獄に行くと思ってた？
実際問題そんな場所はないんだよ』

>オレ<『でもオレ死んじゃったよ』

>神<『この世界はね、砂時計と同じなんだよ。キミはその砂の一粒にすぎない』

神は部屋にあった机に座り続きを話した

>神<『上にあつた砂はいずれは下に溜まる…それがこの世界の秩序でもあるんだけどキミは特例なんだ』

特例？オレが？ふざけるな！！

>オレ<『そもそもなんで特例なんだよ！！もしかしてオレが死ぬのは予定外だったのか！？』

>神<『キミが死ぬのは予定通りだよ。ただキミの死に方に原因が有るんだよ』

>オレ<『その原因で何だよ！！』

オレは知りたかった。何故オレは逃げていたのか、オレを追っていた人物は誰なのか、もしかしてそこに原因が有るのか？

> 神く『アタシが言えるのは、今の人生を楽しく生きなさい。キミは第二の人生を歩んでいるんだから』

第2話『ここはどこ?』（後書き）

いやあ、ヤツパリ難しいね（・・・）でも少しずつ更新できた
らなあ、と目標を作りました。

また3話までには小説になれていきたいと思っています。

第3話『いつもと違う、いつもの朝』

>オレ<『第二の人生って…』

オレはまだ聞きたいことがあった…しかし

>神<『じゃアタシ帰るから』笑

と言い残して部屋の扉を開け

>神<『困ったときはいつでも呼んでね』

と言って出ていった ……！！、追わなきゃ！！！！

しかし部屋の外に出ると誰も居なかった…

>オレ<『てか今の状態に困ってるっつーの』

オレは今すぐにも泣きたかった、すると

>？<『早く起きて学校に行く支度しなさい！！』

一階から声が聞こえる。何故かオレは反射的に

>オレ<『もう起きてるから平気だよママ!~!』

と言った。

え!?ママ!~!オレ今ママって言った!?

>ママ<『なら早く下に降りて来なさい』

>オレ<『はい』

とりあえず返事をしてから下に降りた…

そこには食パン一枚と牛乳パックが置かれていた。いつもなら朝はご飯のお代わりしないと落ち着かないのだが何故か今日はコレでも量がある。

>ママ<『早くしないと電車間に合わないよ!~!』

オレはやバいと思い歯を磨き制服を着た。すると急に男の感情が戻ってきた…

>オレ<『オレ女子の制服着てる』

オレはニヤニヤしながら家を出た。

途中で我に返り

>オレ<『…オレ変態じゃん』

自分が情けなく感じた瞬間である。

第3話『いつもと違う、いつもの朝』（後書き）

久しぶりに書きました…夏休みは部活やら進路で忙しく更新できませんでしたけどやっと出来ました。それと直感だけで書くって以外に時間かかりますね…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7763a/>

死後の世界

2011年1月19日22時24分発行